

倉敷

寄付者にヒマワリ

ウクライナ支援、華道家ら



寄付した人にヒマワリを贈ったウクライナ支援の募金活動＝倉敷みらい公園

ロシアによる侵攻が続くウクライナを支援しようと、倉敷みらい公園（倉敷市寿町）で1日、義援金を寄せた人に同国の国花ヒマワリを贈る活動が行われた。華道家萩原亮大さ

ん(37)＝東京＝らが企画し、黒住宗芳・黒住教公室長(31)や県内の芸術家が協力。経費を除く全額を避難民支援に当たっている国際医療ボランティアAMDA(岡山市北区伊福町)

に託す。

萩原さんらは3月から東京を皮切りに各地で募金を行っており、

この日は同公園での催しに合わせ約10人が活動に参加。ウクライナ国旗にちなみ、黄色い切り花1本を青い包装資材でラッピングしたものと、ヒマワリと青いニゲラの花を組み合わせたブーケを計約200束用意した。

参加者は、音楽の演奏を交えながら買い物客らに「一人一人の支援がウクライナを助けます」などと呼び掛けた。家族6人で訪れた自営業大室幸雄さん

(40)＝福山市西深津町＝は「小さなことでも協力したい」と寄付していた。

萩原さんは「ウクライナで起きていることを自分たちのこととして考えてもらうきっかけになれば」と話していた。(吉川瑠美)